

# 第30回WiN Global年次大会 報告

2023年12月19日原子力委員会定例会

12 - 16 NOV 2023



# 30th WiN GLOBAL

Annual Conference

ASWAN . EGYPT

*~ Women for sustainable development of nuclear*

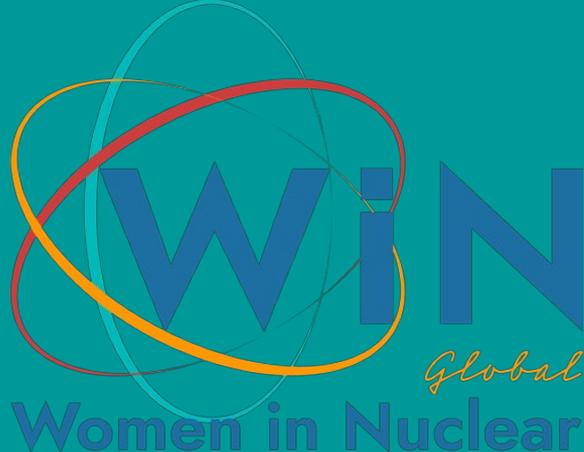


内閣府 原子力委員会  
委員 岡田往子



# 報告内容

- ☑ WiN Globalの紹介
- ☑ 第30回 WiN Global 年次大会 @Egypt
- ☑ 岡田発表  
ジェンダーバランス改善に向けた日本の動向
- ☑ まとめ（所見）



1992年の設立  
環境の持続可能性  
多様性  
ジェンダー平等

- 原子力エネルギーと放射線利用のさまざまな分野で専門的に働く女性の非営利団体（オーストリアで法的に登録）
- 国、地域、国際機関等に60以上の支部があり、世界の145カ国以上に、約35,000名の会員を擁している
- 気候変動、ジェンダー平等、若い才能の発掘と育成という3つの重要な課題に取り組む
- 原子力技術の平和的利用の貢献の意識を高める
- 一般の人々との科学的事実に基づく対話を促進する



# WiN Global 年次大会

- 会期 : 2023年11月12日(日)-16日(木)  
場所 : Movenpick Resort Aswan @Egypt  
テーマ : Women for sustainable development of nuclear and radiation applications  
方法 : 現地対面 (一部ハイブリッド形式)  
参加者 : 129名  
参加国 : 38カ国  
アフリカ諸国、中国、韓国、台湾、インドネシア、UAE  
アルゼンチン、メキシコ  
Web.参加 : フランス、アメリカ  
WiN Japan 出席者 :  
小林容子理事 (情報通信研究機構/WiN Global Board)  
高木利恵子理事 (エネルギー広報企画舎)  
千歳敬子 (NEA/WiN Global Executive Web.参加)  
小川順子 (双映/WiN Global former President)  
岡田往子 (内閣府原子力委員・東京都市大学)



# プログラム (11/12~11/16)

## 役員会 ハイブリッド形式

千歳敬子氏、小林容子理事、小川順子氏、高木利恵子理事

- オープニングセレモニー
- 専門家グループによるネットワークからの報告
- 総会 (ハイブリッド形式)
- カントリーレポート 日本：小林容子理事報告
- 原子力分野の教育を担うセッション：岡田往子プレゼン
- NEAとWiN Global合同国際メンタリングセッション
- 脱炭素に向けた道筋をつけるキーパーソンたち
- 世代を超えた原子力で携わる女性たち
- アフリカでの核医学の報告
- セキュリティ・保障措置 (3S) の最新動向
- クロージングセレモニー【小川順子氏のHonorary Award授賞式】
- ポスターセッション

# オープニング セレモニー



左から

- Dr. Soheir Korraa  
WiN Africa会長、WiN Egypt会長
- Prof. Dr. Amr El Hag Ali  
エジプト原子力庁長官
- Major General Ashraf Attia氏  
アスワン州知事
- Prof. Dr. Shaukat Abdulrazak  
IAEA技術協力部アフリカ課長
- Ms. Dominique Mouillot  
WiN Global会長

# 専門家グループによる ネットワークからの報告

原子力セクターのさまざまな戦略的分野  
における会員の専門知識と豊富な経験を促進

- デコミッション (WiNDI)
- 緊急への備えと対応 (WiNEPRI)
- 平和のためのWiN (WiN for Peace)
- イノベーション (WiNI)
- 原子力法 (WiNLI)
- 核医学 (WiNMI)
- 核セキュリティ (WiNSI)
- 放射性医薬品 (WiNRI)
- 実験施設 (WiNEXI) 新設





- OECD/NEAメンバーがセッションの企画運営に参画。  
当日はフランスからのリモート参加。
- 中央：千歳敬子氏、右：Florence MAHER氏
- 司会（左）：WiN Global 副会長 Melina BELINCO氏
- メンターを囲んだグループディスカッションを実施後、各グループ代表者が内容を報告。
- NEAからの講評
  - 経験が浅い場合でも、自身の能力を信じ、ポジティブに活動することで貢献
  - 好奇心を持って学び続けることが大切。新たな機会への扉も開かれる
  - 女性が少なく孤独を感じる時には、WiNのネットワークを活用し、同じ分野で働く世界中のメンター達と繋がることできる
- WiN GlobalとNEAはMOU（了解覚書）を結び、メンタリング分野においても、様々な活動を共催

## NEA WiN Global合同 国際メンタリング セッション

## Japan's Movement toward Improved Gender Balance

### 発表内容

- OECD/NEAアンケート調査結果
- ジェンダーバランス改善の重要性  
原子力安全には多様で豊富な人材が必要  
女性の能力の活用の重要性
- 原子力委員会の基本的な考え方  
ジェンダーバランス改善に向けた考え方  
多様性の重要性
- 今後の日本

### 講評

Session Chair : Eunok Han氏  
ジェンダーバランスの改善はWiNの重要課題の一つであり、世界中のメンバーが協力して取り組むことが必要

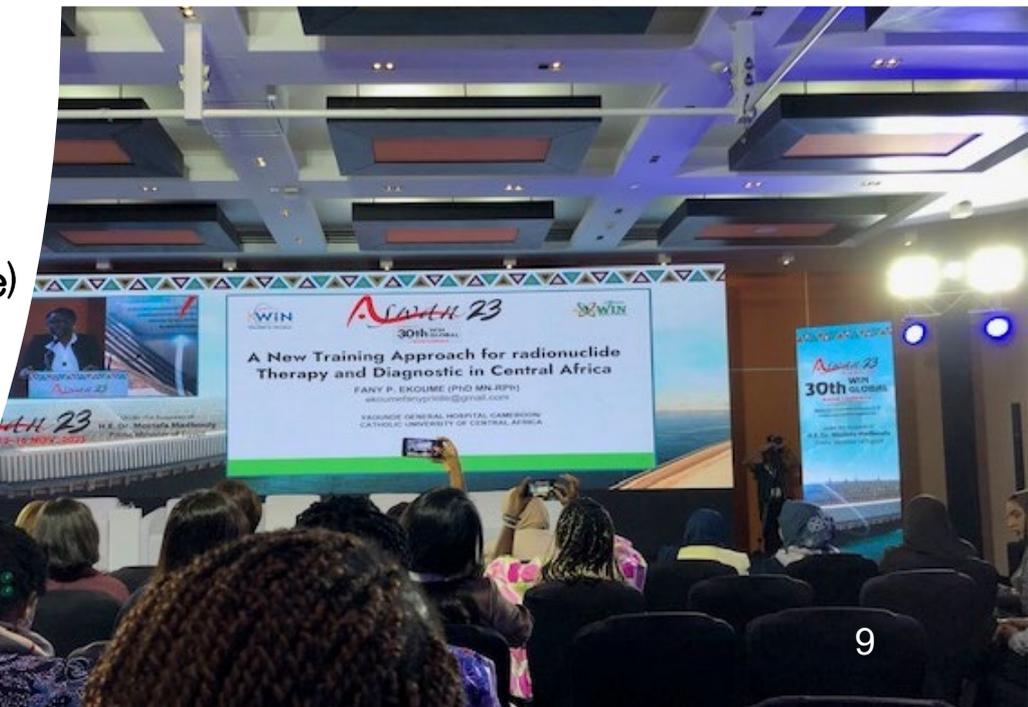
Eva Gyane氏（写真中央、元IAEA）  
7月にも意見交換をしたが、日本の取り組みが着実に前進していることに感銘



# アフリカ核医学報告 Nuclear Medicine in Africa

- アフリカ諸国  
(Egypt, Niger, Kenya, Zambia, etc.)  
発表者: 大学医学部や国立がんセンター
- 核医学検査・核医学治療の必要性  
人材育成などの発表
- 発表者も若く、参加者も若い女性
- IAEAの支援(\* “Rays of Hope” Initiative)
- 中国のカントリーレポートで、  
修士・博士課程でアフリカの女性を  
受け入れているとの報告

\* Rays of Hope Initiative: IAEAが放射線治療を受けていない国やアクセスが不公平な国に重点を置いた支援活動(アフリカ諸国を含め約20か国に支援)



# WiN Global Award



## 小川順子元WiN-J会長

WiN Globalへの長期にわたる貢献を称えるHonorary Awardを受賞。

小川順子氏はWiN Globalの第4代会長を務め、WiN Globalに多大なる貢献をした。WiN Japanの初代会長として、設立時に多大なる貢献をした。

日本原子力学会のダイバーシティ推進委員会の前身である男女共同参画委員会の委員長、学協会男女共同参画連絡会の3期副委員長も務めた。





# まとめ（岡田の所見）

- イスラエルとパレスチナの紛争があり、欧米諸国の会員が参加を見合わせた。
- OECD/NEAも事務局長の判断で、参加を見送ったため、一部リモート参加となった。
- アフリカ諸国の若い女性たちの多数参加。特に核医学関連の報告が盛んで、IAEAの“Rays of Hope” 支援をうけ、活気があった。
- 本大会はWiN Egyptが開催国であった。アフリカ諸国の1国が単独で大会運営を乗り切った熱意と努力に敬意を表したい。
- WiN Globalは、常に新しいメンバーに門戸を開き、経験を積んだメンバーも非常に熱心に後輩を指導して、組織を運営している。
- 各会員の専門性を活かして、国際的なグループを作り、定期的なりモート勉強会を開催している。日本の女性も積極的な参加をした方がよいと感じた。
- 今回の私の発表で、改めてWiN Globalでジェンダーバランスの改善が重要な課題と認識していることが分かった。
- 原子力分野のどこの国でも抱えている課題など、WiN Globalとつながって活動することは重要であると感じた。